

第2学年 道徳（人権）学習指導案

1 主題名 力を合わせて

2 主題設定の理由（一部省略）

1学期から一人ひとりが大切にされる，互いに認め合い助け合える，そんな仲間づくりをめざして取組を進めてきた。学級の中で，自分は大切にされているということを実感したとき，安心感が生まれ，自分のことを好きだと思える心情が高まり，友達といっしょに生き生きと活動できるようになる。

国語科「スイミー」では，スイミーの言動に焦点をあて，スイミーのすばらしいところや協力して大きな魚を追い出したことをとおして，相手を思いやることや力を合わせることの大切さを考えた。道徳「モムンとヘーテ」では，自分勝手な行動をとった友達であるが，その友達を許し，やさしく親切にする主人公の言動をとおして，仲良く助け合うことが大切であることを考えた。絵本「にじいろのさかな」（マーカス・フィスター 作）では，ひとりぼっちだった主人公にじうおが，他の魚たちと仲良くなりとても幸せな気持ちになったことをとおして，友達がいることのすばらしさや大切さに気づかせた。

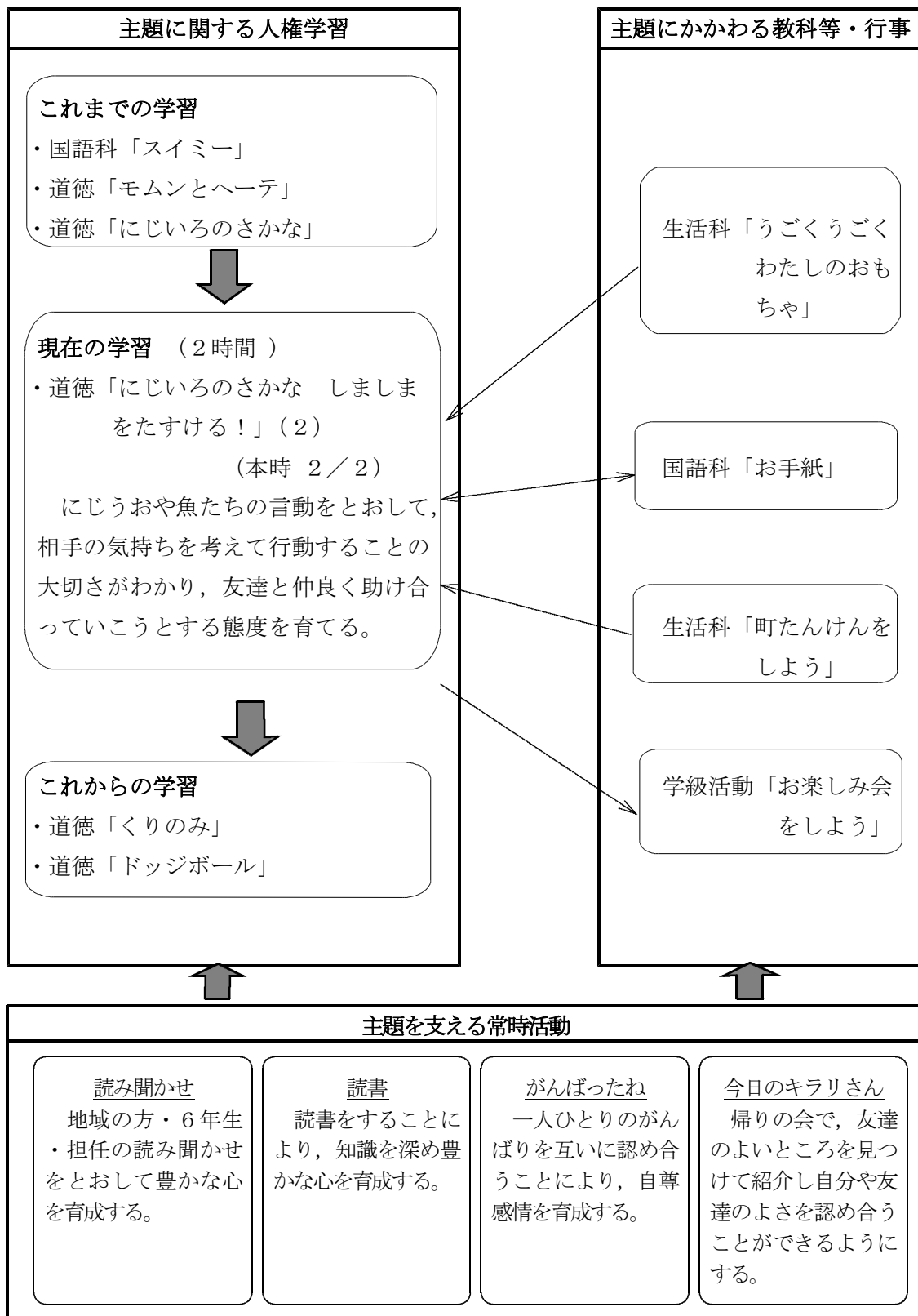
本時の学習では，絵本「にじいろのさかな しましまをたすける！」（マーカス・フィスター 作）の後半部分を読み聞かせ，学習を進める。主人公であるにじうおや魚たちの言動をとおして，相手の気持ちを考え，助け合ったり力を合わせたりすることの大切さを感じ取らせ，自分たちの生活に生かしていくことができるようにしたいと考え，本主題を設定した。

3 ねらい

相手の気持ちを考えることや力を合わせるものの大切さについて知り，仲良く助け合って生活していこうとする態度を育てる。

4 指導計画

「力を合わせて」



5 本時の学習

(1) 目標

にじうおと魚たちの言動を考えることをとおして、友達と力を合わせ、仲良く助け合って生活していこうとする態度を育てる。

(2) 普遍的な学習のテーマ 「仲間づくり」

(3) 展開

| 学習活動 | 指導上の留意点 |
|--------------------------------|--|
| 1 物語の後半の読み聞かせを聞き、本時のめあてをつかむ。 | ○ 絵を提示し、前時までの学習を想起させてから読み聞かせをし、本時のめあてをつかませる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> にじうおたちがしましまをたすけることができたのはどうしてだろう </div> |
| 2 しましまを助けに行ったにじうおと魚たちについて話し合う。 | ○ 役割演技により、しましまを助けたいにじうおと怖がる魚たちの気持ちに迫らせる。 ○ 演技表現が苦手な児童には、場面状況を考えるよう支援する。 |
| 3 しましまを助けることができたのはどうしてなのかを考える。 | ○ 「みんなはしましまのぶじをよろこんだ」「みんなはくしゅかっさい」などの言葉を押さえ、心をつなげて助け合うことの心地よさを感じさせる。 |
| 4 学習のまとめをする。 | ○ 自分たちの生活をふり返りながら、友達と力を合わせ、仲良く助け合って生活していこうとする意欲をもつことができるようにする。 |

(4) 評価

【知識的側面】

みんなで力を合わせることに気づくことができたか。

【価値的・態度的側面】

友達と力を合わせ、仲良く助け合っていこうとする意欲をもつことができたか。

【技能的側面】

友達の考えを聞いたり、自分の考えを話したりすることができたか。